



苫小牧型小中連携教育研究実践校（苫小牧東中・苫小牧東小・若草小）では、3校の教員が合同で研修会に参加したり、長期休業中の学習サポートを小・中学校で協力して実施したりする等、小中連携に係る取組を推進しております。各エリアにおいて、次年度の取組の参考にしてください。

取組の内容

- ① 「特別の教科 道徳」小中合同研修会
- ② 夏休み学習サポートにおける取組

【「特別の教科 道徳」小中合同研修会】



(1) 講師による模擬授業



(自分の考えを色画用紙で示している様子)

令和3年10月6日に北海道道徳研究会の研究副部長である喜田貴美枝氏（札幌市立北野中学校）を講師にお招きし、苫小牧東中学校、苫小牧東小学校、若草小学校の3校で、「特別の教科 道徳」の小中合同研修会を実施しました。

3校の教員20名ほどを生徒役にして、講師による模擬授業を実施し、その授業を踏まえて講義・演習を行いました。

また、4校時と5校時で、中学校の道徳の授業公開を各学年で行い、3校の教員が自由に参観できる場も設けました。

(2) 講師による講義・演習



(3校の教員が模擬授業を参観しました)



【夏休み学習サポートにおける小中連携の取組】

(1) 小学校学習会への中学生補助員派遣



小学校の夏休み学習会に、その小学校を卒業した中学生の中から希望者を募り、学習補助員としてお手伝いに入りました。今年度は、若草小学校が夏休み学習会を行わなかったため、苫小牧東小学校のみの実施となりました。小学生にとっては、分からない問題を年齢も近く親しみやすい中学生から教えてもらい、学習意欲の向上にもつながりました。中学生にとっても、どう説明すれば伝わるのかを試行錯誤する良い機会となりました。

(2) 中学校学習会での小学生向け講座



苫小牧東中学校の夏休み学習会で、来年度、苫小牧東中学校に入学する小学6年生を対象とした小学生向け講座を開き、49名の小学6年生が参加しました。参加した児童は中学校の学習を一足早く体験したことで、中学校での学習のイメージができ、中学生になる自覚が湧いてきたようでした。また、違う小学校同士で隣り合って座り、相談や交流をしながら学習を進められたことで、中学校生活への期待もふくらませていました。

(3) 小学校教員による中学生学び直し講座 (小学校教員による乗り入れ)



小学校教員4名が中学校に乗り入れ、数学科に苦手意識を感じている中学1年生を対象とした算数・数学の学び直し講座を開き、17名の中学1年生が参加しました。中学1年生の実態から苦手意識の強い分数の四則計算の演習を小学校側に依頼し、小学校教員が教材を用意して講座を開きました。中学生にとって、なじみの深い小学校の先生には質問もしやすく、小学校で学んだことをもう一度学び直すよい機会となりました。また、中学校教員も、小学校での教え方や生徒との関わり方を知る良い機会となりました。